学校法人 松翠学園
滋賀文教短期大学
SHIGA BUNKYO JUNIOR COLLEGE

子育て支援活動『ぶんぶんひろば』の意義　－学生・参加保護者アンケートの分析－

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-05-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 雨森, 雅哉 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32125/00000109

子育て支援活動『ぶんぶんひろば』の意義
―学生・参加保護者アンケートの分析―

雨森　雅哉
Amemori Masaya

抄録

本学が2013年度より継続的に実施している子育て支援活動である『ぶんぶんひろば』は、新型コロナウィルス感染症の影響で2020年度および2021年度における実施が従来通りには行えなかった。それを受けて2022年度は２年間空けての対面実施であった。従来通り計画した全６回を実施できた結果から、２年間実施できていなかったことで保護者の方からの反応や、子育て支援としてのニーズがコロナ禍において新しい生活様式の影響を受けて変化しているかを検討した。参加親子の様子やアンケートから、子育て支援活動として本学の『ぶんぶんひろば』の開催は一定の意義があることが確認された。また、今後の子育て支援活動への可能性の示唆も見出された。

キーワード：子育て支援、地域貢献、サービスラーニング、学修効果、コロナ禍

１．はじめに

本学子ども学科では、2013年度より未就園児の子育て支援活動として『ぶんぶんひろば』を継続的に実施している。本事業は、子ども学科学生が主体となり、地域の未就園児とその保護者を対象に親子で楽しめる催しを計画・実施するサービスラーニングである（伊藤（2019），橘（2020））。子育て支援としての地域貢献という面とともに、新型コロナウィルス感染症の流行以降難しくなってしまった子どもたちとの触れ合いという保育者を目指す本学学生の学修にとっても貴重な場という面も含んだ意義のある活動である。伊藤（2019）や橘（2020）によると、新型コロナウィルス感染症流行以前は年に６回実施されており、前半３回を２年生が３グループに分かれ担当、後半３回を１年生が３グループに分かれて担当する流れであった。学生は本学在学中、１年生秋学期と２年生春学期に１回ずつ計２回のぶんぶんひろばを経験できるものであった。世界的な新型コロナウィルス感染症が日本においても流行しだした2020年度は感染拡大防止のため、ぶんぶんひろばの実施を見送ることとなった（藤本（2021））。新型コロナウィルス感染症の影響は私たちの日常生活を大きく変え、また教育現場にも大きな変化をもたらした。小学校・中学校においては進行中であったGIGAスクール構想と相まって、ICT教育が急速に進行した。大学においても、感染症拡大防止対策を模索しながら教育の質を保障すべくオンライン授業をはじめとした遠隔授業にて教育活動を維持する努力が重ねられてきた。本学子ども学科は、対人援助職である保育者養成のための授業として演習形式や実習形式のものが多く、オンラインでは難しい内容ではあるが、なんとかオンラインによって成立させることができた。このような状況下の2020年度ぶんぶんひろばは、従来のような親子を招いて対面での実施は感染拡大の恐れがあるので行わず、親子が自宅にて「ぶんぶんひろば」を体験できるものを作成することを目指した。藤本（2021）によると、親子が自宅で楽しめる遊びや活動を記載したリーフレットの作成および動画の作成を行った。地域の親子との交流という点では途切れてしまったが、特殊な環境下における子育て支援活動という点では学生には多くの学びが得られる機会となった。新型コロナウィ

ルス感染症の影響下２年目ともいえる2021年度においては、感染状況の考慮と感染対策を徹底したうえで、従来通りの対面実施を計画したが、緊急事態宣言の発出といった状況のもと多くの回が中止となった（ぶんぶんひろばだけでなく、保育の現場を体験できるインターンシップも実施直前に中止となった）。実際の実施状況は第１回目が準備と親子参加なしの録画、第２回目が親子参加にて実施、第３回目が準備のみ、第４回目以降は中止となった。感染状況の緩やかな時期に１回対面開催をすることができたことは、コロナ禍における子育て支援活動として、また学生の学びの機会としては幸いであった。

新型コロナウィルス感染症の影響を受け、従来の地域貢献やサービスラーニングとしての機能をこれまでのように活動できなかった２年間を空けて、2022年度は計画した全６回を実施することができた。2021年度同様に感染状況の考慮と十分な感染対策を実施したうえで、大きなトラブルもなく実施できたことは今後なんらかの非常事態下におけるぶんぶんひろば開催に大いに役に立つものであろう。以上により、本稿は2022年度ぶんぶんひろばの記録の整理と、学生と保護者から得られたアンケート結果から地域貢献や子育て支援、保育者養成における学修効果について検討することとする。

２．目的

2022年度ぶんぶんひろば実施に関する報告と、実施主体である学生と参加保護者によるアンケート結果について分析し、あらためて『ぶんぶんひろば』の意義を確認する。

３．方法

〈時期〉2022年春学期　第１回：５月18日（水）　第２回：７月13日（水）　第３回：８月20日（土）
2022年秋学期　第４回：10月５日（水）　第５回：11月16日（水）　第６回：12月14日（水）

〈事前準備〉春学期・秋学期ともに水曜１・２限の基礎力プログラム補講の時間に各回のテーマに沿った内容の検討、制作物作成、練習およびリハーサルを行った。水曜１・２限の時間だけでは間に合わない場合は、各グループの判断で、空いた時間を利用し準備を行った。各回準備期間としては３週間程度であった。

〈募集〉本学HPや本学作成のパンフレットの配布、長浜市の広報（長浜市の子育て支援アプリを含む）などにより、地域の子育て世帯からの参加を募った。感染拡大防止のため事前予約制と先着順による定員制にて募集を行った。

〈実施〉実施場所はあすなろホールであり、第４回だけは体育館であった（テーマがミニ運動会ゆえ）。各回10時30分から11時30分の１時間にて実施した。受付は10時からであり、早めに受付を済ませた参加親子には自由遊びとして会場に室内遊具を用意し担当学生たちが一緒に遊ぶ時間とした。また終了後の11時30分から12時までの30分間も会場を解放し、開始前同様室内遊具と担当学生が一緒に遊ぶ時間とした。この時間に保護者に参加者アンケートの記入を求めた。参加者全員が退出し、後片付けが済んだのちに反省会と学生アンケートの実施を行った。

〈参加者アンケート〉コロナ禍以前実施の橘（2020）を参考に７つの設問を用意した。

１．お住まいの地域について
２．本日のぶんぶんひろばを知ったきっかけ
３．本日のぶんぶんひろばに参加しようと思った理由
４．本日参加された感想
５．学生のお子さんへの対応
６．今後、ぶんぶんひろばでやって欲しい活動

７．その他、感想・ご意見

上記１．～６．については、選択肢にて回答を求めた。

７．および１．～６．のその他に関しては自由記述式にて回答を求めた。

〈学生アンケート〉コロナ禍以前実施の橘（2020）を参考に５つの設問を用意した。

使命感・倫理観・向上心・チームワーク（協働性）・コミュニケーション力について３件法にて回答を求めた。

４．結果と考察

（１）2022年度ぶんぶんひろば活動記録

2022年度ぶんぶんひろば実施の日時と各回のテーマ、担当グループ、参加親子について表１に示した。

各回に異なったテーマが設定されており、担当学生はテーマに沿った内容や制作物を準備した。

参加件数及び人数については、第１回だけが少なく、第２回以降は親子合わせて40名前後の参加であった。これは新型コロナウィルス感染症の影響で約２年間実施を中止していた影響が考えられる。これまで継続して行っていた本活動が途切れたことによる地域の認知度の低下と、新型コロナウィルス感染症への警戒からか第１回は出足が悪かったと言える。第２回からは後述する参加者アンケート結果からも、知人に誘われて参加する方がいたように、本年度は無事に実施されていることが人づてに伝わったことが考えられる。また第２回以降は複数のお子さんを連れてきてくださる保護者もいることが分かる。そして第３回以降は複数のお子さんとともに夫婦や祖父母とともに参加といった形もあった。

これらのことより、本学の感染症対策もあるが、世間一般の感染対策の浸透および新しい生活様式の獲得によって、2022年度のぶんぶんひろば開催が受け入れられたと考えられる。

表１　2022年度ぶんぶんひろばスケジュール

実施回	日時	テーマ	担当グループ（人数）	参加件数	保護者人数	子ども人数
第１回	5月18日(水)	ふれあい遊び	２年生Aグループ(16)	9	9	9
第２回	7月13日(水)	身体を動かした遊び	２年生Bグループ(14)	23	23	24
第３回	8月20日(土)	水遊び	２年生Cグループ(17)	17	19	23
第４回	10月 5日(水)	ミニ運動会	１年生Aグループ(14)	18	20	23
第５回	11月16日(水)	触感遊び	１年生Bグループ(13)	16	17	18
第６回	12月14日(水)	音楽を楽しむ	１年生Cグループ(12)	17	18	19

（２）参加者アンケート結果

表２-１に、参加保護者によるアンケート結果を示した。全体的に良い評価であるといえる。このことから地域の子育て支援活動として、本学のぶんぶんひろばの意義があることがうかがえる。

次に項目ごとに見ていくと、まずは参加者については上述のように第１回だけが親子合わせた参加人数が18名と少なく、第２回以降は40名前後の人数である。第１回目だけが参加人数が少ないことに関しては、新型コロナウィルス感染症の影響でこれまで継続して行っていた本活動が途切れたことで認知度が下がったことと、感染症への警戒か本活動を知っていても様子見だったことなどが考えられる。アンケート回収率に関しては80％～100％であり、非常に高いものと言える。100％にならなかった第２回は2022年度開催において最も参加人数が多い回であり、あすなろホールがやや混み合っている印象があったことがアンケート回収率に影響した可能性がある。第４回はテーマがミニ運動会で、実施場所は体育館であった。広い場所で走り回れる環境でもあり、他の回よりも参加した子どもたちがアクティブであった。後述するアンケー

表２-１　参加者アンケート結果

	第１回		第２回		第３回		第４回		第５回		第６回	
実施日	５月18日		７月13日		８月20日		10月５日		11月16日		12月14日	
参加者（乳幼児）	9		24		23		23		18		19	
参加者（保護者）	9		23		19		20		17		18	
アンケート回収率	100.0%		82.6%		100%		88.9%		100.0%		82.4%	
１．お住まいの地域について、あてはまるものに１つ○をつけてください。												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
長浜市	9	100.0%	17	73.9%	17	100.0%	14	77.8%	16	100.0%	13	76.5%
米原市	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
彦根市	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%
２．本日のぶんぶんひろばを知ったきっかけを教えてください。【複数回答可】												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
チラシ（さんさんランド他）	6	66.7%	10	43.5%	9	52.9%	10	55.6%	8	50.0%	4	23.5%
本学ホームページ	0	0.0%	3	13.0%	3	17.6%	4	22.2%	1	6.3%	4	23.5%
以前参加したとき	0	0.0%	5	21.7%	3	17.6%	2	11.1%	4	25.0%	5	29.4%
知人や友人の誘い	0	0.0%	5	21.7%	4	23.5%	3	16.7%	4	25.0%	3	17.6%
その他	3	33.3%	2	8.7%	1	5.9%	1	5.6%	2	12.5%	1	5.9%
３．本日のぶんぶんひろばに参加しようと思った理由は何ですか。【複数回答可】												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
子どもの友だちを探していたから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
子どもの遊び場が欲しかったから	9	100.0%	16	69.6%	13	76.5%	15	83.3%	13	81.3%	12	70.6%
ママ友やパパ友を探すため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%
知人や友人に誘われたから	0	0.0%	0	0.0%	3	17.6%	1	5.6%	3	18.8%	1	5.9%
参加したい活動があったから	1	11.1%	0	0.0%	5	29.4%	5	27.8%	4	25.0%	1	5.9%
保育者を目指している学生による企画だから	3	33.3%	10	43.5%	3	17.6%	3	16.7%	3	18.8%	6	35.3%
以前参加して良かったから	3	33.3%	4	17.4%	10	58.8%	7	38.9%	5	31.3%	5	29.4%
子育てについての相談をしたかったから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	22.2%	1	4.3%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
４．本日、参加された感想としてあなたの気持ちに一番近いものを選んでください。												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大変良かった	3	33.3%	9	39.1%	12	70.6%	12	66.7%	10	62.5%	7	41.2%
良かった	6	66.7%	9	39.1%	3	17.6%	4	22.2%	6	37.5%	7	41.2%
やや改善が必要	0	0.0%	1	4.3%	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
改善が必要	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
５．学生のお子さんへの対応はいかがでしたか。あてはまるものに１つ○をつけてください。												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
大変良かった	4	44.4%	12	52.2%	12	70.6%	10	55.6%	13	81.3%	8	47.1%
良かった	5	55.6%	6	26.1%	5	29.4%	6	33.3%	3	18.8%	6	35.3%
やや改善が必要	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
改善が必要	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
６．今後、ぶんぶんひろばで、やってほしいと思われる活動に〇をつけてください。【複数回答可】												
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
絵本の読み聞かせ	2	22.2%	4	17.4%	9	52.9%	11	61.1%	5	31.3%	3	17.6%
身体を動かす遊び	4	44.4%	11	47.8%	14	82.4%	12	66.7%	9	56.3%	6	35.3%
音楽遊び（わらべうた、手作り楽器など）	4	44.4%	9	39.1%	11	64.7%	8	44.4%	9	56.3%	4	23.5%
感触遊び（粘土遊び、水遊びなど）	4	44.4%	14	60.9%	13	76.5%	11	61.1%	7	43.8%	3	17.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%

トの自由記述の部分にも、「子どもがじっとしていられない」「走り回っていた」などの記載があり、アンケートどころではなかった保護者がいたことがうかがえる。学生もそんな子どもへの安全配慮のため付きっきりになることもあったので、学生側もアンケート依頼・回収が十分に行えなかった可能性がある。第６回は、本アンケート以外にも２件のアンケートの実施を行っており、ぶんぶんひろば終了後の子どもを見ながらアンケート３件の回答は難しかったと考えられる。このような状況が考えられるものの、80％以上の高い回収率は、本活動への参加保護者の積極性や好意的な態度、期待の顕れと言える。

「１．お住まいの地域」についての回答は、全ての回で最も多い地域は長浜市からの参加者である。

「２．ぶんぶんひろばを知ったきっかけ」についての回答は、最も多い回答は「チラシ（さんさんランド他）」であり、本学と長浜市の地域連携協定に基づき、さんさんランドをはじめとした市内の子育て支援センターや保健センターに本学作成のチラシを設置した効果と言える。また第２回以降の回答に「以前参加したとき」と「知人や友人の誘い」が一定数あり、リピーターや口コミで広まったことがうかがえる。少ないながら「本学ホームページ」や、その他の自由記述（表２-２）にあるように「長浜市のホームページ」や「ながまるキッズアプリ」といったインターネットを介した媒体がきっかけとなっているようである。インターネットを介したというより、スマートフォンの存在が大きいかもしれない。子育てで忙しい中で、ちょっとしたすき間の時間にスマートフォンで検索や連絡をとるといったことが考えられる。「１．お住まいの地域」についての回答で長浜市が最も多いことと合わせて考えても、本学の所在地である長浜市の子育て世帯にぶんぶんひろばが認知されていることがうかがえる。

表２-２　ぶんぶんひろばを知ったきっかけ〈その他〉自由記述内容

	第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回
〈その他〉記述内容	・長浜市のHP ・ながまるキッズアプリ	・学生さんの誘い ・ながまるキッズアプリ	・ながまるキッズアプリ	・妹がこの大学の学生で、妹から聞いた	・ながまるキッズアプリ ・兄、姉の時もきていました。	・市からのメール

「３．本日のぶんぶんひろばに参加しようと思った理由」についての回答は、「子どもの遊び場が欲しかったから」がどの回でももっとも回答数が多かった。やはりコロナ禍において自由に遊べる場がないことが回答に反映されていると思われたが、橘（2020）によるアンケート結果と比較してみても、「子どもの遊び場を求めて」（選択肢の文言は異なるが、質問内容・意味合いは同等である）がもっとも回答数が多く、感染症による生活様式の変化ではなく、もともと子どもを自由に遊ばせられる場を保護者は求めているということである。もちろんただ遊ぶ「場所」というだけでなく安全が配慮され、複数の目で子どもたちを見守るという意味合いも含んでいることも考えられる。次いで回答数が多い選択肢は、「保育者を目指している学生による企画だから」や「以前参加して良かったから」であり、保育者養成に対する一定の理解や過去のぶんぶんひろばにおける学生の努力が伝わっていることが回答につながっているだろう。また回によってばらつきがあるが「参加したい活動があったから」の回答があることから、ぶんぶんひろば自体への関心の高さも感じられる。その他については、自由記述を表２-３にまとめたので参照していただきたい。

表２-３　ぶんぶんひろばに参加しようと思った理由〈その他〉自由記述内容

	第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回
〈その他〉記述内容	・なかなか広場活動がなく、HPで見つけたから ・学生さんが積極的に関わってくれるのが嬉しい	・子どもが人との触れ合いが好きだから		・妹に誘われたため		

「４．本日、参加された感想」について、ほとんどが「大変良かった」と「良かった」の回答であり、参加保護者からのポジティブな反応が多いことが分かる。「やや改善が必要」もあわせて３件あり、改善の必要性ももちろんある。「４．本日、参加された感想」の理由について自由記述を見ると（表２-４）、多くが「子どもが楽しそう・嬉しそうだった」「家でできない遊びを体験出来て良かった」というポジティブなものが多く、改善点としてあげられるものは、「（子どもが）泣いていても指名を続けること」「（水遊びの）大きいプールに子どもがたくさんいて、学生さんはヨーヨー（別の小さなプール）にいてあまり一緒に遊んでもらえなかった。柔軟な人の配置？」という具体的な記述がされていた。後述する学生アンケートの結果から、コミュニケーション力の回答に低いものがあったり、反省会にて多くの子どもと保護者とに関われなかったといった内容があったりと、保護者の記述と合致する内容が見て取れる。もちろん参加学生すべてというわけではなく、一部の学生ではあるが、際立ってしまった結果ともいえる。子どもや保護者の方とのコミュニケーションや、子どもたちを見守る力は、保育の現場でも大切だが、それと同時に自分や仲間の得手不得手を把握して補い合えることを意識させることもコミュニケーション力（協働力）として身につけなければならないだろう。

「５．学生のお子さんへの対応はいかがでしたか」について、１件だけ「やや改善が必要」との回答があったが、それを除けばすべて「大変良かった」か「良かった」という回答であった。こちらからも保護者の方からは学生たちが努力している姿を評価してもらえたということだろう。回答の理由についての自由記述（表２-５）から、表現は様々だが「子どもに寄り添ってくれて、ありがたい」という内容が多かった。改善に関わりそうな記述は「全体の進行に関すること」と「もっとふりきってやってもらえると、もっと楽しかった」というものであった。また学生を応援するコメントも見られたことから、改善が必要という回答も学生へのアドバイスを含んだものであることがうかがえる。

「６．今後ぶんぶんひろばでやってほしい活動」について、どの回でも「身体を動かす遊び」を回答する方が多かった。次いで「触感遊び」「音楽遊び」「絵本の読み聞かせ」であり、用意した選択肢のどれもが多少の差はあれど期待されていた。こちらに関しては、次の「７．その他、ぶんぶんひろばについての感想・ご意見」の自由記述に「家ではなかなかできない遊びが体験できることがありがたい・嬉しそう・楽しそう」という内容の記述があり、子育て支援活動をするうえで保護者のニーズとしてしっかりと意識すべき点である。参考までに「６．今後ぶんぶんひろばでやってほしい活動」のその他の自由記述を表２-６に示す。

「７．その他、ぶんぶんひろばについての感想・ご意見」の自由記述（表２-７）について、参加保護者の多くの方が可能な範囲でたくさん記入してもらえたことが見て取れる。一つ一つの記述内容は表２-７を見ていただくとして、内容をまとめると多くの方が書いていることは「子どもが楽しんでいた（一緒に楽しめた）」「楽しそうにしている・嬉しそうにしている子どもが見られて良かった」「次回も参加したい」「学生への応援」「改善のためのアドバイス」「ぶんぶんひろばへの希望」「感謝・労い」ということになる。「子どもが楽しんでいた（一緒に楽しめた）」「楽しそうにしている・嬉しそうにしている子どもが見られて良かった」「また参加したい」の３種については、「親子で楽しめる催しを計画・実施する」という『ぶんぶんひろば』の目的と合致するものであり、この感想がいただけたことが子育て支援活動である『ぶんぶんひろば』実施の意義ともいえる。「学生への応援」や「改善のためのアドバイス」「感謝・労い」は、良い保育士になって欲しいという保護者として子どもたちのための保育環境改善を願ってのコメントにも思える。以上のことから総じて良い評価といえる。その中で子育て支援活動として、今後の参考となる記述として「ぶんぶんひろばへの希望」を取り上げてみたい。「土日開催希望」「月２回開催希望」この２つは、土日をはじめ日常生活の中で子どもを遊ばせる、または一緒に遊ぶ場や機会が少ないことが考えられ

表2-4　本日参加された感想の理由

第１回	・泣いていても指名を続けたりするのはちょっと… ・いろんな動きや音楽が楽しかったです。 ・ボールプールで遊ぶ機会がなかったので、とても喜んでいたので今日来て良かったと思いました。人見知りのない子なので、いろんな人とふれあえてとても楽しんでいる姿が見れて嬉しかったです。 ・とても楽しそうに過ごしていたので嬉しかった。家での遊びに退屈していたので、良い刺激になったと思います。 ・音楽に合わせて子どもが楽しそうにしていた。 ・子どもにたくさん話しかけてもらって嬉しかった。 ・２歳には少し難しい内容のような気がしました。 ・とても楽しかったです。動きの大きい活動が多かったので、体を触って遊んだり、座っても楽しめるふれあい遊びもあったら良かったなと思います。リフレッシュ出来て良かったです。ありがとうございました。
第２回	・子どもが動きすぎて参加できなかったから ・学生さんの年齢に子どもが接する機会が少ないので良かったです ・歌をうたってほしかった ・身体を動かす遊びがたくさんあって子どもが楽しそうだった ・遊ぶところが欲しかったので良かった。 ・もりだくさんでとても楽しかったです。 ・学生さんの頑張る姿が見れてよかった。 ・新聞プールはいつあったのかな？ ・１回目より子どもが動く遊びが少なかった。新聞プールは？ ・マイク越しの声が大きすぎてかえって聞きにくかった。 ・もう少しハイハイできたり、リズム遊びができると良いな ・学生さんたちが頑張って活動している様子に感動しました。遊びがマンネリ化しているので、いつもと違う遊びが取り入れられ楽しかった。
第３回	・内容が家でできる遊びだったので、違う遊びが良かったです。 ・水で遊ぶおもちゃがあり楽しんでいた。水鉄砲がもう少しあれば、なお良かったです。 ・とてむ親しく声をかけていただけて、子どもも楽しそうだったから。 ・水遊びを喜んでしていたから。 ・いろいろな遊びがあり、楽しめました。 ・普段親と遊んだ時とは違う様子で、すごくよろこび遊んでいた。 ・以前より楽しんでくれた。 ・大きなプールに子どもがたくさんいて、学生？さんはヨーヨーのところにいてあまり一緒にあそんでもらえなかった。柔軟な人の配置？ ・大すきなプールを思う存分できたので。家ではおもちゃも数に限りもあるため。同じくらいのお子さんとの触れ合いも良かったです。 ・子どもが楽しそうに遊んでいたため。 ・子ども目線で接していただき大変ありがたかった。子ども同士のつながりが作りにくい中、とてもありがたい。 ・水遊びが大好きなので、自由にできる大きな場所でで子どもが楽しそうだったから。 ・子どもがすごく楽しんでいたので。水遊びは家でここまで楽しめないので良かったです。 ・身体を思いっきり動かせて良かったです。 ・水遊びが子どもが楽しそうだったから。
第４回	・子どもがのびのびと活動できました。他の子の様子をみたり、集団の中でうちの子がどんな風に過ごすのか見られて良かったです。案の定じっとしていることができずご迷惑をおかけしてすみませんでした。待ち時間が長くうちの子はずっと走り回っていました。 ・家ではできない活動が体験できてよかった。 ・たくさん身体を動かせたから ・どうぶつあわせなど知育にもなる遊びがあったから。 ・子どもが思いもよらない行動をしたとき、機転を利かせて対応してくださったのが嬉しかった。 ・同じ年齢・月齢の友達とあそんで刺激となったため。 ・赤ちゃんをよく見てくれた。かわいがってくれた。 ・なかなか外で遊ぶ機会がないので、良い運動になりました。人と触れ合う良い機会でした。 ・子ども自身が楽しんでいたので良かったです。 ・子どもが楽しそうにしていて、参加して良かったと思いました。 ・下の子をしっかり見てもらえて、上の子とのびのび遊べて良かったです。 ・子どもが楽しそうにしていたので良かったです。 ・子どもが喜んでいた ・子どもが喜んで参加していたので、良い機会になりました。せっかくグループに分かれたので、同じグループ同士の交流（あいさつ程度でも）あると良かったかな？と思いました。楽しかったです。 ・子どもの楽しめる企画だったから
第５回	・ねんどはなかなかできないのでうれしかったです。 ・小麦粉ねんどやスライム遊びなどはなかなか自宅でできないので、経験出来てよかったです。 ・初めてのねんど遊びで不安もありましたが、学生さんが上手に遊んでくれたので、大変良かったです。 ・粘土はまだ触ったことがなかったので、良い機会になった。 ・家ではなかなかできない感触遊びができたから。 ・いつもしない遊びができるから。 ・子どもが好きな遊びでたくさん遊べて、とても喜んでいました。 ・子どもが普段とは違う遊びをさせてもらい喜んで遊んでいました。家ではなかなかできない遊びができて良かったです。 ・スライムが楽しそうでした。お話が聞けて良かったです。 ・ねんどは家ではなかなかできない
第６回	・楽器を使って楽しそうに遊んでいました。部屋が乾燥しているような気がして加湿器があったらいいなぁと感じました。いろんなおもちゃで遊べ喜んでいました。 ・一生懸命練習されたのが伝わりました。 ・学生さんが子どもと一緒に遊んでくれて子どもも嬉しそうだった。 ・子どもが楽しそうにしていたので良かったです。 ・ダンスや手遊びを楽しんでました。 ・音楽会がとても楽しかったようです♪ ・体操をしたり、歌を歌ったり、積極的に参加できた。絵本も集中して聞けました。 ・子どもにとって数少ない交流の場は大変貴重でした。ありあとうございました。 ・学生さんの手作り感、ていねいに計画された感じが良かったです。 ・いつも楽しい企画で今回も楽しかったから。

表２-５　学生のお子さんへの対応の理由

第１回	・個別で遊ぶとき声かけも上手ですごいなと思いました。ありがとうございました。 ・いろんな学生が声がけしてくれました。ありがとうございます。 ・抱っこしてもらえたり、一緒に遊んでもらえて良かった。聞いたことない遊びばかりだった。バスでゴーゴーは子どもも好きでよく聞いていたけど、ちょっと知らない曲ばかりだった。 ・にこにこして接してもらってとても良かったです。 ・一緒に遊んでもらえた。 ・みなさん、優しく、たくさんほめてもらえ、娘も喜んでいました。
第２回	・子どものことを見てくれて助かった ・近くによってもらえて良かったです。 ・子どもと一緒に笑顔で楽しそうで良かったです。ありがとうございました。 ・２人子どもがいたので助かりました。 ・とても優しく、一緒に遊んでくれたので良かった。 ・たくさん声をかけてくれた。 ・ぶんぶん広場が始まる前後にももう少し積極的に関わってもらえると保育士としての経験が積めると思います。 ・もう少しふりきってやってもらえると、もっと楽しかったかなと思います。 ・笑顔で見てくれてとてもうれしい。前でやる人はもう少し全体を見ながらゆっくり進めて欲しい ・やさしい ・声かけてもらって嬉しそうだった！ ・子どもと一緒に遊んでもらいました。慣れている子、不慣れな子、いろいろな子達がいましたが、子どもたちの安全を配慮しながら、一生懸命かかわってくれているように見えました。これからも頑張って欲しいです。
第３回	・たくさん話しかけて下さり、子どもが嬉しそうでした。 ・子どもの様子をみながら対応してくれた。 ・進んで子どもたちに声をかけてくれたから。 ・名前で呼んでくれて、声掛けをして、一緒に遊んでくれた点。 ・みんな笑顔で優しくて良かったです。 ・とても細やか丁寧に接してくださり、子どもも喜び、安心できた。 ・自然と寄り添って遊んでくれました。 ・その中で接してくれた学生さんはみんな良かった。そのままでがんばれ！ ・声掛けの参考になりました。たくさん遊んでもらって、息子も大満足のようでした。 ・上手に遊んでくれて、とても良かったです。 ・視線をそろえてくださっていた。子どもの様子を見て、合わせて対応してくれていた。 ・やさしく関わってくれた。 ・上の子がいっぱい遊んでもらい楽しそうでした。 ・もう少しはりきって接してもらっても良かったかなと思いました。 ・いつも優しく声をかけて下さり、子どもも喜んでいます。 ・やさしい声だった。
第４回	・さすが保育士を目指す学生さん。動き回る我が子に積極的に関わってくださり、子どもがとーっても嬉しそうでした。きっと素敵な先生になられるんだろうなと思います。応援しています。 ・笑顔で声をかけてくださったり、手を振ったりしてくださり、喜んでいた。 ・積極的に手をだして（声をかけて）きてくれてよかった。 ・進んで子どもたちに声をかけてくれて良かった。 ・子どもが走り回ってもすぐ学生の方が対応して下さり笑顔で接して下さり、子どもものびのび楽しく遊ぶことができました。絵本のときの歌が知らない歌で、何か一緒に歌える歌だったら良かった。バスでGoGoとかお弁当に歌は知っていたけど。 ・一生懸命だったため ・積極的に関わってくれた ・話しかけてもらって喜んでいました。はずかしがってしゃべれませんでしたが… ・学生さん一人ひとりが気にかけてくれました。 ・親以外に、自分から近づいていくことがあまりないのですが、うれしそうに遊んでもらっていたので、子どもにとっても良い体験になりました。 ・とても可愛がって下さり、優しく声もかけてもらえて良かったです。 ・上手に遊んでくれたので、大変良かったです。 ・優しく声をかけてくださり、嬉しかったです。 ・誠実に安心感を感じる対応だったから
第５回	・元気よくてたのしかったです。 ・笑顔がいっぱいで大変よかったです。 ・みんな優しく声かけてくれました。 ・優しくおだやかに声かけしてくださったので、人見知りな子どもも楽しめていました。 ・子どもと一緒に遊んでくれた。子どもも楽しそうでした。 ・子どもと仲良くしてくれたので良かったです。 ・ずっと笑顔で接してくれていたので、人見知りの我が子も最後は楽しくおしゃべりしながらあそんでました。 ・前に立つ学生さんのしゃべり方がとても良かった。 ・優しくしていただいてありがとうございました。 ・やさしく声をかけていただいたり、近くで見守って下さり安心できました。 ・ニコニコ笑顔でステキでした。子どものめんどうよく見ていただき助かりました。
第６回	・なかなか絵本や手遊びに集中してみていられなかったけど、都度学生さんが優しく対応して下さり、「お姉さん、お姉さん」となついて楽しんでいました。ありがとうございました。 ・みなさん優しく対応してくださり、嬉しかったです。 ・一緒に活動してくれようとしてくれたから。 ・子どもと遊んでくれたので良かったです。楽しそうでした。 ・子どもと一緒に遊んでくれました。 ・優しく親切にしていただきました。ありがとうございました。 もっと積極的に話しかけてくれたり、一緒に遊んでくれても大丈夫です。泣いたら泣いたなので、もっと自由に関わった方がいい。 ・近所のお兄ちゃんお姉ちゃんのようで良かったです。 ・これから子どもたちに携わってくださる上で、この活動はきっとためになると思います。たくさんいろんな経験をしてくださいね。 ・けがをしないようにと注意して見て下さり、感謝しています。

表２- ６　今後ぶんぶんひろばで、やってほしい活動〈その他〉自由記述内容

第４回	・学生の方に遊んでもらえるなら何でも喜びます。ペープシアターやエプロンシアターも個人的に好きです。 ・手遊び

表２- ７　その他、ぶんぶんひろばについての感想・ご意見の自由記述内容

第１回	・初めてくる人用に、外の学生さんは立っているだけでなく看板などで表示してくれたらいいなぁと思いました。 ・初めて参加させてもらって、親子共楽しめました。ありがとうございます。勉強頑張ってください。また参加させてもらいたいです。 ・次回も楽しみにしています。
第２回	・大きな積み木などここでしか見られないおもちゃがたくさんあって良かった。 ・子どもの自由な姿に寄り添ってくださって安心しました。 ・参加者が多くてびっくりした。楽しそうにしていて良かった。 ・また参加させてください。実習・勉強頑張ってください。 ・プログラムの新聞プールが気になりましたが、年齢の低い娘でもとても楽しめる遊びばかりでとても良かったです。 ・学生さんの頑張る姿が見れて良かったです。今後も頑張ってください。 ・学生さんの取り組みの姿勢がいつも素敵です。 ・ぜひ頻繁にやって欲しいと思います。ありがとうございました。 ・ぶんぶんたいそう、かわいいのでうたの看板？みたいなやつもっと真ん中にあれば良いのに～。動物さんを呼んだりが多く、まだできない（１歳）ので、おいでおいでの手遊びするとかしてほしかった。来るときに道でプラカードを下げている学生さんがいて分かりやすかった。 ・楽しかった、膝の上にいられる子だと良いのですが、ハイハイで動き回って良いともっと母も子も嬉しい。 ・いろんな親さんお子さんの様子も見られて今後の子育ての参考になりました。学生さんにたくさん遊んでもらえて楽しかったです。楽しい時間をありがとうございました。これからも学生のみなさんには頑張ってもらいたいと思います。
第３回	・月２回くらい開催してほしいです。 ・ぶんぶん広場の参加を楽しみにしています。ありがとうございました。 ・普段関われないお兄さんお姉さんと関われる機会をいただけて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。 ・昨年はコロナでの中止で１回だけの参加になってしまい、今年子どもとともにすごく楽しみにしていました。親も楽しめて、子どもとの素敵な夏休みの思い出ができました。ありがとうございました。 ・たくさんの学生さんに見てもらえるので、安心です。たくさんの人との関わりのできるので、子どもにとっても親にとってもありがたいです。 ・土日に開催してくれる参加できて嬉しい。平日は園があってこれません… ・また水遊びがしたいです。楽しく参加させていただきました。ありがとうございます。 ・子どもが幼稚園に行っているので、土日開催だと嬉しいです。 ・これからもぜひ続けていただきたい。準備・企画などおつかれさまでした。 ・また次回も参加したいなと思います。 ・プールに１人でつかることができ、のんびり遊べて良かったです。 ・次回も参加したいです。
第４回	・子どもの好きな動物や車でも遊びがあり、楽しかったです。 ・とても楽しかったです。車に乗るのをとても楽しんでいました。 ・ひとりでぽつんとしていた子にも、学生さんが気にかけて声をかけていたので良かった。こういう学生さんにこれから保育士の先生になってほしいと思う。自分の子どもも見て欲しいと思った。積極的に名札を見て、子どもの名前を呼んでいて良かった。子どもの名前を呼ばれることで初対面でも、子どももなつき、親しく遊ぶことができた。 ・以前参加したときに、大きな友達と小さな友達の遊び場の区切りがなくボールプールで大きな子が学生さんと遊んでいる場面で、少し怖い思いをしました。小さな友達と大きな友達の遊び場の区別や学生さんの対応（声掛け）、一緒に遊ぶだけでなく注意するなどあるといいなと思いました。 ・初めての参加ですが、雰囲気も良くよかった。広いところだったのでのびのびと動けてよかった。また参加したいです。 ・準備から、楽しい遊びまでありがとうございました。それぞれの子との対応、大変だったと思いますが、また実習などもがんばってください。 ・上の子の時から９年通っています。毎回楽しい時間をありがとうございます。短い学生生活楽しんでください。 ・いつも学生さんの気づかいがありがたいです。たくさん見てくれる場があるので、本当に助かります。 ・楽しく遊べて良かったです。ありがとうございました。 ・いつも子どもが楽しみにしています。 ・保育士の卵、がんばってください。
第５回	・今回は進行がスムーズだったと思います。手遊び歌は２回繰り返すといいかなと思いました。絵本の内容は少し２歳の子どもには難しかったかもしれません。集中が続かない感じがありました。 ・育児講座のようなものがあるとうれしいです。勉強する場が欲しいです。 ・たくさんたくさん身体動かす遊びをしてほしい（お昼寝してくれやすいため）
第６回	・一年間楽しい時間をありがとうございました。優しいお兄さんお姉さんと一緒にあそべて、娘も毎回楽しんでいました。母親としても若い方のエネルギーをいただき、若返れたように思います。楽器遊びのウラ拍ならしは子どもには少し難しかったですが、身体を動かし楽しんでいました。ありがとうございました。 ・学生さんたちが、子どもたちのことを好きな様子が伝わってきました。これからもがんばってください。 ・子育て講座などがあれば嬉しいです。勉強したいです。 ・なかなか大人と関われる機会がないのでこのような活動はとてもありがたいです。また参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

る。特にコロナ禍となってから子育てが孤立しやすく、そこから児童虐待のリスクや保護者のメンタルヘルス不全が高まってしまうことを考えると切実な問題ともいえる。こういった深刻な問題のためにも『ぶんぶんひろば』は一定の価値があるだろう。もちろん参加人数の制限や、開催回数の限界（本学の年間行事や時間割、実習などの予定を考えるとこれ以上増やすことは難しい）があるので、子育て支援の一助という位置づけであろう。また『ぶんぶんひろば』にというわけではないだろうが「育児講座・子育て講座などで勉強がしたい」という記述は少数ではあるが、子育て支援を考えるうえで貴重な意見であることを述べておきたい。

（3）学生アンケート結果

表３にぶんぶんひろば参加学生への実施したアンケート結果を示す。

全６回のどのグループにおいても似たような分布であることが確認できる。使命感・向上心・チームワーク（協働性）については、どのグループももっとも良い選択肢を選んでいる割合が高い。倫理観については、ややばらつきがみられ、最も良い選択と中程度の選択をしている。コミュニケーション力は倫理観の結果よりもばらつきが大きいようにみえる。こちらのアンケートはぶんぶんひろばを経験した学生による主観的なふりかえりである。２年生と１年生では実施時期が春学期と秋学期で半年異なるとはいえ、２年生は１年次の授業の経験や保育実習Ｉと施設実習も経験している。対して１年生は春学期の授業を経験しただけの状態である。授業や実習の経験のある２年生の方が主観的な評価において１年生を上回るものと思えたが、大きな違いは見られなかった。ぶんぶんひろばの実施という点において２年生は昨年度（１年次に）経験をしていないため、１年生と同じ条件と考えることができる。確かにテーマが決まっているとはいえ、テーマに沿ってぶんぶんひろばにおける具体的な活動内容を自分たちで考え、準備をし、地域の親子と実際に触れ合うという機会は実習先でも経験することはないだろう。ぶんぶんひろばの活動と保育実習は、子どもたちと触れ合うという共通性はあるが、質的に異なることが考えられる。全６グループがそう大きく違いがないということならば、本学学生というくくりで特徴を述べていくものとする。保育者を目指す学生として使命感・向上心・チームワーク（協働性）が高いことは大いに武器となる特徴である。その反面、特にコミュニケーション力にはまだ課題が残されていることが彼らの主観的な評価から、つまり自信のなさという点で浮き彫りとなっている。今後社会に出てこれまでに接したことのない世代の方と一緒に仕事をするとなるとコミュニケーション力を発揮する必要がある。保育士に限らず、社会人になれば誰もが経験することであり、そこに自信が持てない・不安があるということは、保育の知識や技能だけではカバーしきれない弱点となる可能性がある。本学子ども学科においても、多くの授業でグループワークを用いコミュニケーション力の向上を図っているが、まだ学生の自信にはつながっていないということであろう。

５．まとめ

2022年度ぶんぶんひろば全６回における、参加保護者によるアンケート結果と参加学生によるアンケート結果から、地域の子育て支援活動として『ぶんぶんひろば』の認知度や需要という点で、一定の価値があることが分かった。また、保育者を目指す本学学生の長所と短所についてもある程度みえてきた。新型コロナウィルス感染症の影響で、途切れてしまったが再開を待ち望み、以前と変わらず参加してくれる保護者の方もいることがアンケートの記述から分かったことは、本学教員としてとても幸せなことである。また、本稿においては、得られたアンケート結果を単純集計して、概観したにすぎない。今後は、『ぶん

表３　学生アンケート結果

項目	概要説明	選択肢	第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回
使命感	自分に課せられた役割や任務そのものに意義や価値を見出し、その役割や任務を果たそうとする気概	●自分の役割を理解し、やりがいを持てた。 ●自分の役割の他にもすべきことがないか考えて行動した。	15　94%	13　93%	15　88%	11　79%	13　###	11　92%
		●自分の役割は理解したが、やりがいは持てなかった。 ●他人に話しかけられたり、期限が迫ったりして、ようやく対応した。	1　6%	1　7%	0　0%	3　21%	0　0%	1　8%
		●自分の役割がよく分からなかった。 ●分からないことをすぐに周囲の人に質問することができなかった。	0　0%	0　0%	2　12%	0　0%	0　0%	0　0%
倫理観	自分の良心と社会の規範やルールに従って適切に行動できる	●すべての子どもにわけへだてなく、愛情をもって接することができた。 ●時間、敬語、服装等のマナーを守った。	10　63%	12　86%	9　53%	7　50%	12　92%	8　67%
		●すべての子どもにほとんど同じように関わった。 ●時間、敬語、服装等のルールをほとんど守った。	6　38%	2　14%	8　47%	7　50%	1　8%	3　25%
		●自分と気の合う子どもを優先して関わってしまった。 ●時間、敬語、服装等のマナーを守れなかった。	0　0%	0　0%	0　0%	0　0%	0　0%	1　8%
向上心	現状に満足せず、よりすぐれたもの、より高いものをめざし、自らその目標に向かって自己研鑽に励み、努力する力	●自分なりの目標とそれに対する課題が説明できる。 ●今後も継続的に努力する予定である。	15　94%	8　57%	13　76%	10　71%	9　69%	7　58%
		●自分なりの目標を立てて行動した。 ●自分の課題は分からないので、友人や教職員などに相談しようと思う。	1　6%	5　36%	2　12%	3　21%	4　31%	4　33%
		●目標が具体的ではなかった。 ●自分の課題は不明瞭で、どうすれば良いか分からない。	0　0%	1　7%	2　12%	1　7%	0　0%	1　8%
チームワーク（協働性）	ともに目標を共有し、自発的・積極的に課題解決に向け、力を合わせて取り組み、互いに高め合おうとする態度	●グループの活動に積極的に参加し、メンバーが相互に意見を出し合えるように努めた。 ●グループで目標と現状を共有できるように努めた。	13　81%	11　79%	13　76%	7　50%	12　92%	9　75%
		●活動には参加したが、意見を出したり協力したりすることはあまりできなかった。 ●共同作業や情報共有が時々できなかった。	3　19%	3　21%	2　12%	6　43%	1　8%	3　25%
		●グループの活動にほとんど参加しなかった。 ●共同作業や情報共有がほとんどできなかった。	0　0%	0　0%	2　12%	1　7%	0　0%	0　0%
コミュニケーション力	相手の言いたいことを的確につかみとる力および相手と意思疎通を図りながらきっちりかみ合ってやっていくための力	●全ての人に自分から挨拶し、そのときに相手の状況や顔色を観察した。 ●子どもや保護者の気持ちをよく聴いたり代弁したりしながら、やり取りした。	4　25%	8　57%	10　59%	5　36%	5　38%	6　50%
		●全ての人に挨拶ができた。 ●会話のやり取りに戸惑うこともあったが、子どもにも保護者にも自分から関わろうと努力した。	12　75%	5　36%	6　35%	5　36%	7　54%	4　33%
		●挨拶ができないことがあった。 ●子どもや保護者にどう対応すれば良いか分からず、自分から行動できなかった。	0　0%	1　7%	0　0%	4　29%	1　8%	2　17%

ぶんひろば』の更なる価値の発見、可能性の発見のために、もっと数量的に検定を行えるようにアンケート内容の精査をする必要がある。また単年度でなく数年の蓄積データから見えてくるもの、経年比較によってみえてくるものもあるだろう。今後の課題としてこれらを述べることで『ぶんぶんひろば』の学術的価値も上がることを期待する。

【参考・引用文献】

伊藤孝子（2019）「保育士養成課程を有する大学における子育て支援活動～「ぶんぶんひろば」の教育的意義について～」『滋賀文教短期大学紀要』21，51-63

橘那由美（2020）「「子育て支援活動『ぶんぶんひろば』の検証」―学生の自己評価および参加保護者アンケートの分析を通して―」『滋賀文教短期大学紀要』22，67-81

藤本明美　（2021「保育士養成課程におけるオンライン・アウトプット型学習の実践―コロナ禍の「おうちでぶんぶんひろば」の事例―」『滋賀文教短期大学紀要』23，61-73

田岡紀美子　（2022）「短期大学を拠点とした学生主体の子育て支援活動の意義―ぶんぶんひろばでのサービスラーニングに着目して―『滋賀文教短期大学紀要』24，93-112

雨森雅哉　子ども学科講師・発達心理学